

再建30周年記念総会 おめでとう



神奈川大学

学 長

石 積 勝

神奈川大学大阪府宮陵会再建30周年記念総会おめでとうございます。神奈川大学大阪府宮陵会の皆さまには、普段から大変お世話になっておりますし、私も根来会長をはじめ、多くの方々と何回もお会いさせていただいております。学長に就任する以前は、女子サッカー部の部長として部を率い、三木山総合公園に何回か参りました。その時にはたくさんのお支えもいただいております。また支部総会では副学長としてお話をさせていただきましたこともございます。学長に就任してから、全国各地の宮陵会の皆さまとお会いさせていただいておりますが、大阪府宮陵会の皆さまとは、特別に親しくさせていただいております。去る7月には、近畿ブロック会議でも数名の方々とお会いさせていただきました。

ぜひ今後も引き続きよろしくお願いたします。さて、入学式や卒業式についても申し上げます。神大は第一に総合大学であるということです。文系・理系の7つの学部が揃っているこの総合大学で、学生の皆さんには、学部を越えて大いに交流を深めて欲しいと申し上げます。第2番目には、全国型大学ということですが、卒業生数22万人、これは780以上の日本の大学の中で実に16番目です。全国型大学という意味は、約4割の新生入生が地方出身者で占められるということです。首都圏にある大学としては実に大きな数字です。当然ながら、多くの卒業生の皆さん、これから卒業する未来の神大OBの皆さんが、全国各地で活躍しています。私としては、この全国型大学と

しての神大を維持したいと思っております。そのためには、卒業生の皆さんお一人一人のご協力が不可欠でございます。ぜひよろしくお願いたします。もちろん、一番重要なことは、神大をもつとすることと魅力あるものにする。そして全国から受験生が神大を目指して集まってくる大学とすること。それが学長として最大の仕事であると感じています。いづれにせよ、私ども現場の教職員とOBの皆さまとが手を取り合って、神奈川大学を更に発展させていきたいものです。記念総会に寄せて、一言メッセージを寄稿させていただきます。総会が大いに盛り上がることを祈念いたしております。

再建30周年を祝す



一般社団法人神奈川大学宮陵会

会 長

狩 野 七 郎

このたびは神奈川大学大阪府宮陵会が再建30周年の慶事を迎えられますことを心からお祝い申し上げます。大阪支部としての始まりは昭和27年でありますが活動の折、昭和58年に大都市圏の再建支部として再出発され今日に至っております。本会の会報等から伺うことができます。

入れてきたところでございます。本会が連携する各組織は、全国並びに海外で活動している地域組織が143団体を数え、それぞれの地域、同期・同好、職域で宮陵会活動を活発に行っていたら、会員相互の親睦を深めるとともに母校の維持発展に寄与していただいているところでございます。とりわけ、近畿圏の一大都市である大阪府宮陵会におかれては、各界の第一線でご活躍の会員を多く有し、近畿ブロック会においては中心的な役割をも担っていただいております。感謝申し上げます。

が強くっております。母校は創立百周年を見据えた将来構想を策定し、その具体的施策のなかでも学生への支援強化策として、米田吉盛教育奨学金を創設され、本会も毎年2千万円を寄付しているところでございます。この奨学金には、経済支援として新入生奨学金ならびに地方出身学生支援奨学金も新設されております。また、卒業生子弟・子女入試制度もようやく導入され、これらの施策が全国で活躍する地域組織に新たな若い会員の参加に繋がることを期待している次第であります。地域組織を担う次世代会員の参加がますます厳しくなる中において、母校と卒業生との連携はさらに強固なものとしなければなりません。大阪府宮陵会におかれましては、再建30周年を迎えられる本年を一つの節目として更なる飛躍を祈念し、貴会のご発展とご活躍をお祈り申し上げます。